

担い手づくり部門（ア）

大分県豊後大野市 有限会社お花屋さんぶんご清川
（代表取締役：小久保 恭一 氏）



- 経営規模：9ha（菊類（施設）3.5ha、カボス（露地）4.8ha、花木類0.7ha）

（注）数字は令和2年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 代表の小久保氏は愛知県で就農後、輪ギクの周年安定出荷栽培を実践するため、平成16年に大分県で「有限会社お花屋さんぶんご清川」を設立して輪ギクの周年栽培を開始。販売は、小久保氏が代表を務める出荷団体「有限会社お花屋さん」を通じて出荷。
- ・ 研修生が独立就農する際に、後に有限会社お花屋さんグループに参加する「のれん分け方式」を導入し、平成16年の設立以降、18名の新規就農者を輩出。独立就農後のフォローアップとして、ほ場の巡回指導や情報共有を実施。また、グループのブランド・販路を使って販売を行っており、就農準備から販売まで継続的に支援。同時にグループ調達により苗や肥料、資材等を格安で購入することが可能となっている。
- ・ 栽培指導においては、ハウス施設をブロック分けし、ブロックごとに4～5日間隔で植え付け、出荷を年3回程度繰り返すことで研修生は1年間で多くのキク類の栽培を経験することが可能となっている。
- ・ 栽培指導だけではなく、県の機関や地域の金融機関と協力した経営面の指導も実施。経営者、地域農業の担い手としての心構えのほか、家計管理の見直しなど生活面の指導や、独立後の施設設備へのアドバイスを行うなど多面的な支援を実施。
- ・ 休憩所・食堂及び研修生の宿舎を整備し、県内外から研修生を受け入れており、就農希望者のほか、農業高校や農業大学校等の農業教育機関や、県普及指導員の新規採用職員の研修の受入れも行っている。